

## 平成 26 年度第 3 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録

日 時：平成 27 年 3 月 24 日（火）13 時 00 分～14 時 30 分

場 所：京都大学宇治地区研究所本館 S 棟 5 階 防災研究所大会議室(S-519D)

出席者（敬称略）吉田、川邊、遠田、緑川、松澤、長田、中野（正）、山本、中野（晋）  
（代理：武藤）、廣岡、飯高、松浦、井口、岩波、辰己、鈴木

オブザーバー（敬称略）：大志万（所長）、寶 馨

（文部科学省）：丸山、（防災科学技術研究所）：臼田（代理：中須）、（事務局）：織田、山本

配布資料：

- 資料 1 平成 26 年度第 3 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会出席名簿
- 資料 2 平成 26 年度第 2 回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）
- 資料 3 各地区部会報告
- 資料 4 突発災害調査報告
- 資料 5 SAIGAI データベース
- 資料 6 平成 26 年度 自然災害研究協議会 予定執行状況
- 資料 7 平成 27 年度京都大学防災研究所自然災害研究協議会委員名簿（案）
- 資料 8 平成 27 年度突発災害調査委員会（案）・突発災害調査研究方法について
- 資料 9 重点推進型共同研究企画提案書
- 資料 10 東大地震研・京大防災研拠点間連携共同研究委員会議事次第とメモ
- 資料 11 第 52 回自然災害科学総合シンポジウム

- ・議事に先立ち、文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災科学技術推進室 丸山 秀明室長並びに京都大学防災研究所長 大志万直人教授より挨拶があった。
- ・本協議会の出席者（代理）の確認を行った。

議 事：

### 1. 前回議事録（案）の確認（資料 2）

廣岡議長より、資料に基づき、説明がなされ、協議会終了前に再確認の上、了承された。

### 2. 平成 26 年度の各地区部会報告について（資料 3）

各地区部会から活動報告がなされた。主な報告項目は以下のとおりである。

- 北海道地区：北海道地区フォーラム（「環境科学・防災研究 10 周年記念事業」の記念講演会を北海道地区フォーラム共催として実施）について
- 東北地区：東北地域災害研究集会および東北地区部総会(H27. 1. 9-10)について
- 関東地区：市民科学オープンフォーラム(H26. 11. 19)について

- 中部地区：公開シンポジウム(H26. 12. 9)について、「H26 年度京都大学防災研究所 防災研究所地域防災実践型共同研究（特定）」採択について
- 近畿地区：近畿地区部会規約の制定、人材データベース更新、Tell-net フォーラム・大阪市立大学都市防災教育研究センター設立記念（地域防災フォーラム 2015）の開催について
- 中国地区：部会名簿の作成、地区部会研究発表会の開催について
- 関西地区：災害調査及び調査報告会について
- 西部地区：土木学会 100 周年記念シンポジウム、地区部会研究発表会の開催について
- 突発災害報告について（資料 4）

松浦委員より突発災害対策として科研費（特別研究促進費）2 件が採択された旨の説明がなされた。詳細について、山本委員より「課題名：2014 年 8 月豪雨により広島で発生した土石流災害の実態解明と防災対策に関する研究」、飯高委員より「課題名：2014 年御嶽山火山噴火に関する総合調査」について、各々説明がなされた。

- 自然災害データベース（資料 5）

鈴木委員より、資料に基づき、データベースの入力状況及びアクセス状況について報告がなされた。

### 3. 平成 26 年度決算について（資料 6）

松浦委員より、資料に基づき、平成 26 年度予算執行状況の報告があり了承された。また、次年度の予算配分については、各地区部会からの要求額に応じて配分することが再確認された。

### 4. 平成 27 年度の委員会構成について（資料 7）

廣岡議長より、資料に基づき、平成 27 年度委員会の構成について説明がなされた。協議の結果、提案のとおり了承された。

### 5. 平成 27 年度突発災害調査委員会について（資料 8）

松浦委員より、資料に基づき、平成 27 年度突発災害調査委員会について説明がなされた。委員名やガイドライン等の詳細については、次回の協議会にて審議し決定して行く方針であることが確認された。

### 6. 平成 27 年度の計画について

- (1) 京都大学防災研究所共同研究（重点推進型共同研究）（資料 9）

松浦委員より、共同研究企画提案書が2件提出された旨の報告がなされた。

(2) 東大地震研究所と京大防災研究所との拠点間連携共同研究（資料10）

松浦委員より、拠点間連携共同研究の採択結果の報告がなされた。課題募集型については、継続課題8件と新規課題4件、参加者募集型については、総括研究9件と特定研究2件が採択された旨の報告がなされた。

(3) 第52回自然災害科学総合シンポジウムの開催（資料11）

松浦委員より、第52回自然災害科学総合シンポジウムについて、10月6日（木）に開催し、場所は未定として今後検討する旨の提案があり、了承された。